

会長挨拶

安住 祥

平成 5 年に 60 年ぶりにシナイモツゴが山谷ため池で内水面水産試験場により再発見され、それ以来鹿島台町の天然記念物として教育委員会が中心となって保護してまいりました。シナイモツゴは宮城県の地名に由来する唯一の魚であり、現在県内で生息が確認されているのは山谷ため池(3箇所)と松島町のため池の計4箇所だけで、宮城県のレッドデータブック 2001 年版ではゼニタナゴとならんで最も絶滅が危惧される魚とされています。また、シナイモツゴが住むため池には同じく絶滅危惧種のゼニタナゴ、ギバチ、メダカなどが生息しており、2001 年 12 月には日本重要湿地 500 に選定されました。このように、シナイモツゴと山谷ため池の重要性が広く認識され、何とか絶滅の危機からこれらの魚を護って欲しいという願いが県内はもちろん全国の自然を愛する人々から寄せられています。しかし、一方では平成 8 年ごろからブラックバスが町内のため池で繁殖しこれらの多くで小魚が絶滅状態にあるそうです。山谷地区のため池も例外ではなく、ブラックバスからシナイモツゴを護る取り組みが早急に必要となっています。

このような中、「自然に親しみながらシナイモツゴを護っていこう」という趣旨でシナイモツゴ郷の会が 4 月に発足し、会員も現在 50 名を越えました。当面はブラックバス対策が中心となりますが、シナイモツゴを増やすための試みもすでに始まっています。また、シナイモツゴをマスコットキャラクターにして明るい町造りに貢献しようというアイデアもあります。さらに、会員各位の積極的な参画と活動に期待したいと思います。

品井沼は先人の努力により美田と化して莫大な恩恵をもたらしましたが、現在もこの周辺にはかつて県内最大の湖沼であった品井沼の貴重な自然が残されています。これら貴重な財産を次世代へ残す活動を地道に展開しながら、この恩恵に浴する喜びを会員の皆様と共に味わって行きたいと考えます。

見学会に参加して

佐藤豪一

(鳴瀬川源流, 内水面水産試験場, 山谷ため池, 4 月 20 日)

今回、鳴瀬川源流を見る際、昼食を取るために立ち寄った旗坂キャンプ場は高校の頃、船形山登山で訪れた思い出の場所でもありました。残念ながら本当の源流と言える所までは雪のため、たどり着けなかったのですが、いつも鹿島台町辺りで見られるゆっくりとした流れの鳴瀬川とは全く違う景色を見られたのはたいへん新鮮なことでした。

内水面水産試験場では、屋外の水槽で養殖されていたマス類の大きさに驚きました。しかし、それ以上に驚いたのは屋内の水槽で飼われていたナマズやギバチが人工飼料によく餌付いていたことです。ブラックバスの生態も研究されているようです。

最後に山谷ため池を見学しました。その山谷ため池は言わば品井沼のミニチュアであると説明があったとおり、シナイモツゴ、ゼニタナゴ、ギバチ、メダカなどの希少魚が現在まで生き延びていますが、このようなため池が鹿島台町に残っていたのは奇跡と言っても過言ではないと思います。

会はまだ立ち上がったばかりですが、会員数を増やして、誰でも気軽に参加できるようにし、日本中に誇れるような「シナイモツゴ郷の会」にできたら良いと思います。



鳴瀬川水源地近くの滝



山谷ため池の堤で

シナイモツゴ生息池のバス駆除を成功させましょう

運営委員募集中

郷の会はシナイモツゴ生息池(池袋ため池)に侵入したバスを駆除する計画を進めています。内水面水産試験場の調査結果からため池でバスが繁殖するとそこに住むシナイモツゴなど小魚は全滅してしまうことがわかっています。貴重な魚など豊かな自然を守るためにはバスを駆除しなければなりません。公民館、内水面水産試験場や一般の方々に協力をいただきながら9月にバス駆除作戦を行う予定です。只今、作戦の中心となる運営委員を募集中です。運営委員は計画からバス捕獲まで、それぞれが可能な範囲でかかわります。7月下旬に最初の運営委員会を開催します。運営委員としてともに行動可能な会員は7月29日まで事務局(公民館)までご連絡ください。

産卵・ふ化しました

公民館で飼育中のシナイモツゴが産卵・ふ化しました。ふ化した可愛い稚魚が元気良く泳いでいます。是非、ご覧下さい。



塩ビ管に産み付けられた卵



全長は4~5mm



早くおおきなあーれ

バス繁殖調査のお知らせ

町内のため池で内水面水産試験場がバス繁殖調査を実施します。シナイモツゴの産卵も見られるかも知れません(少し時期が遅いので確実ではありません)。

7月29日(月;午前)の予定です。参加可能な方は高橋(56-9560)までご連絡ください。

役員が決まりました。

役職	氏名
会長	安住 祥
副会長	山谷 均
"	高橋 清孝
会計	平形 文志
監事	安部 寛
"	根元 信一
事務局長	五十嵐義雄

今年のスケジュール

4月	シナイモツゴ生息池など見学、事業打合せ
5~8月	人工繁殖、稚魚飼育(6月~7月)
7月	ブラックバス繁殖調査、シナイモツゴ生息調査
9月	池干しと地引網によるバス駆除...山谷ため池
10~11月	先進地団体との交流会と見学
1~3月	勉強会・総会

会費納入のお願い 「シナイモツゴ郷の会」は皆様の会費により運営しております。納入がまだの方は事務局(鹿島台町公民館: 0229-56-2510)までお願いします。

シナイモツゴと品井沼のシナイはアイヌ語で大きな川(沢)を意味します。

小川が流れとともに大きな川になるように地道な活動を続け、シナイモツゴなど大切な自然を次世代へ残しましょう。